

## 李登輝氏、来月訪日で中国の反発必至

台湾の李登輝前総統(83)の事務所は19日、前総統が「純粹に観光、文化交流を目的」として9月12日から17日まで訪日すると発表した。李氏を「台湾独立勢力の代表的な人物」とみる中国政府の反発は必至だ。

日本の外交筋は李氏訪日について「政治目的ではなく反対する理由はない」としており、一般の台湾人観光客と同様に査証(ビザ)なしの渡航を認めるとみられる。

李氏は今年5月、日光や松島など松尾芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地を約2週間訪問する計画だったが、3月と4月に肺結核で入院し、訪問を延期していた。

「身体的にきつい」(李氏)として日程は6日間に短縮。李氏の事務所は「詳細な日程は調整中」としている。

李氏はこのほど、一部日本メディアの取材に対し「訪日中に機会があれば『日本の教育とわたし』をテーマに講演したい」と述べ、日本での初の講演に意欲を示した。

李氏は戦前、京都帝大(現京大)で学んだ親日家で、日本語が堪能。01年4月、心臓病治療のため約16年ぶりに訪日。04年末に再び日本を訪れ、名古屋、金沢、京都などを観光した。

[2006年8月19日14時5分]

<http://www.nikkansports.com/general/f-gn-tp0-20060819-77764.html>